

IACS の組織体系について

(1) IACS の組織

図1にIACSの組織図を示す。理事会(Council), 一般政策部会(GPG: General Policy Group)があり, その下に, 主に統一規則及び統一解釈等の制定改廃にかかわる技術的な検討を行う6つの分野(Environmental, Machinery, Safety, Survey, Hull 及び Cyber Systems)のPanelがある。現在のPanel制度は2005年1月に移行したもので, 従来, 強度分野, 船体損傷, 防火といった分野毎に数多くの作業グループがあったものを, 主に技術要件をスムーズかつ効果的に審議するため, 再構成したものである。また, 2014年1月より, これまで条約全般を審議していたStatutory Panelを2つに分割し, 安全に係る条約を審議するSafety Panel及び環境に係る条約を審議するEnvironmental Panelを新たに設置した。更に2016年7月より, 近年海事分野においても関心が高まっているサイバーセキュリティに係る事項等を審議するため, Cyber Systems Panelが新たに設置された。

その他, 特殊な事項, 例えばIACSの活動を法的な観点から審議するExpert Group/LAW等の専門家グループやIACSとしての独立した品質システムをコントロールするためのQuality Committee等が存在する。

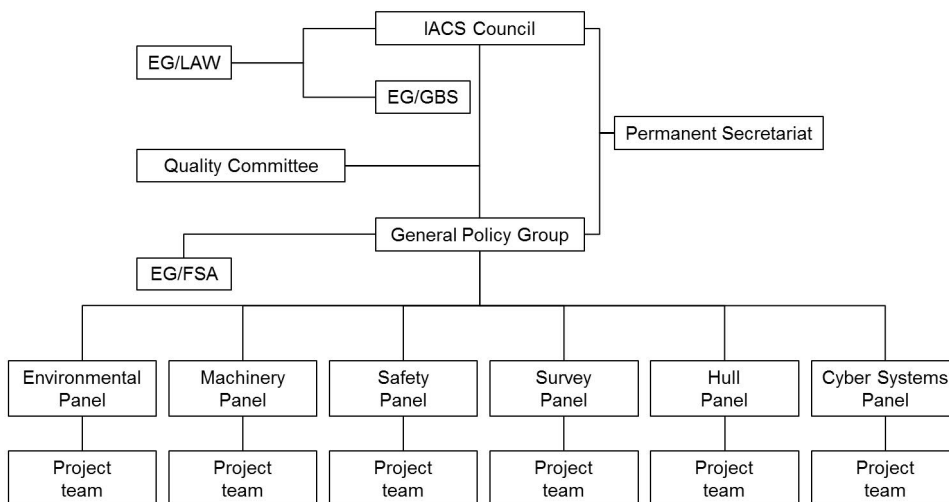


図1 IACS の組織図

議長協会（任期 1 年の輪番制）は Council 及び GPG の議長を同時に務める。本年 7 月からは CCS が議長協会を務めている。

(2) IACS Council 及び GPG

IACS Council の役割は、海事産業における船級の役割を対外的に周知するだけでなく、IACS メンバーの結束を固めることにより、船級協会の主目的である船舶の安全にかかわる一定の基準を維持するべく組織を取りまとめることにあり、IACS の方向性決定や海事産業との関係維持等、主として政治的な決定を行っている。また、IACS の最終議決機関としての役割を担っている。

一方 GPG の役割は、Council を補佐することにより、各 Panel の審議状況把握及び Panel から提案される統一規則（UR: Unified Requirement）、統一解釈（UI: Unified Interpretation）、統一手順（PR: Procedural Requirement）及びその他の基準等（IACS Resolution）の改正案の審議、採択等を行っている。

(3) Environmental/Machinery/Safety/Survey/Hull/Cyber Systems Panel

IACS の各 Panel の役割は、それぞれの分野に関する UR 及び UI 等の制定改廃や保守等にかかわる技術的な検討を行うことであり、2～3 回／年の頻度で会議を開催しているほか、E-mail を使ってコレスポネンスにより技術規則等の審議を行っている。

現在、Environmental, Machinery, Safety, Survey, Hull 及び Cyber Systems Panel の 6 つの分野の Panel が設立されている。